

日時：2019年12月11日（水）15時30分～16時50分

場所：アクティブラーニングルーム

1. 参加者

委員：5名 事務局：11名

2. 報告

- ・学校説明会実施状況
- ・中学校訪問・文化祭来校中学生数について

3. 協議

<令和元年度の取り組みの進捗報告>

○かわち野今後検討PTについて

- ・これまで3回開催し、「出口の保障のため、基礎学力をつけさせる」を目標の一つとした。

○遅刻について

- ・11月は、約6割の生徒が遅刻0回となっており、一部の生徒が遅刻を繰り返している。
- ・遅刻件数はクラス間や学年間で差が見られ、特に1年生の遅刻件数が多い。2年生は修学旅行に伴う取り組みで時間に対する意識がかわり、遅刻件数が減少した。3年生は進路決定に伴う気持ちの緩みで一時的に遅刻件数が増加したが、教員の働きかけで回復した。

○進路について

- ・三年生、約85%進路が決定した。
- ・大学進学は一般入試での合格は難しく、生徒にはAO入試や各種推薦入試を勧めている。
- ・就職は途中から就職志望となった数名を除いて全員の就職先が決まった。
- ・2年生で進路希望別バス見学会や説明会を実施する等、早い段階から進路についての準備を進めている。

○いじめについて

- ・生徒からの訴えにより、いじめ対策委員会をおこなっている。
- ・アンケートを実施するなど担任や保健室等も含め窓口をたくさん用意している。

<委員からの意見・提言等>

○出口の保障に加えて、進学先や就職先で何がしたいのか、目標を持って卒業できるようにしてほしい。

○かわち野高校を志望する中学生の志望動機に「学びなおし」という言葉が使われることが少なくない。そのような生徒に対して丁寧な指導をしてほしい。

○かわち野高校について、まず教員自身が主体的に考えることで主体的な生徒を育ててほしい。

○遅刻指導に関して、遅刻の有無だけで判断せず生徒一人一人の人間性も含めて粘り強く指導してほしい。

○遅刻が減少した学年があるならば、その方法を他学年と共有し学校全体として取り組むべきである。

○いじめの防止について、生徒からの訴えを待つだけでなく、学校側がアンテナをはることが大切である。

○生徒は話しやすい窓口相談に行くため、たくさんの窓口が連携して情報を共有しなければならない。しかし、SCやSSWは時間に制限があり、教員や学校の負担が大きくなっているのが現状。